

# MiTERAS

仕事可視化

## PC ログ(PC 起動・終了時間)出力 API

パラメータ・返却データ仕様

第 1.2 版

作成日：2025 年 6 月 2 日

## はじめに

MITERAS 仕事可視化の PC ログ出力 API の入出力仕様を記載します。

## 変更履歴

日付	担当者	版数	変更内容
2025/6/2	MITERAS 開発チーム	1.0	初版
2025/6/16	MITERAS 開発チーム	1.1	PC ログ出力対象データのパラメータを日付による期間指定のみに削減
2025/10/06	MITERAS 開発チーム	1.2	最新仕様に合わせ、API 返却データの記載を追記。

# 目次

はじめに .....	2
変更履歴 .....	2
PC ログ出力 API .....	4
機能概要.....	4
API パラメータ.....	6
API 返却データ.....	7

# PC ログ出力 API

## 機能概要

PC ログ出力 API は MITERAS 仕事可視化に保持されている PC ログ（各ユーザの PC 起動時間、PC 終了時間）のデータを取得する API です。

### ■ダウンロード可能データ

- ・ PC ログ（MITERAS 仕事可視化の各ユーザの PC 起動時間、PC 終了時間）

### ■利用方法

PC ログ出力 API の URL へ、所定の入力パラメータを含めた HTTPS リクエストを送信することで MITERAS 仕事可視化から PC ログの情報を出力することができます。

PC ログ出力 API は、一時的なネットワークエラーやサーバーエラーにより実行が失敗するケースがあります。

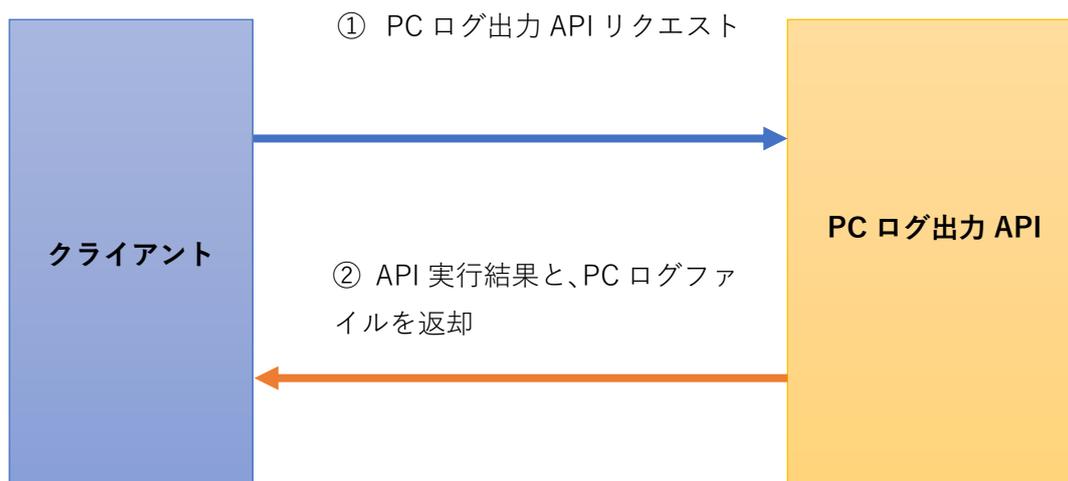
そのため PC ログ出力 API 呼び出し失敗時のリトライ処理のご検討を推奨いたします。

### ■API 仕様

API 形式	Web API 形式
プロトコル	HTTPS
API URL	https://<MITERAS 仕事可視化のサーバードメイン>/api/v1/download/pc-timelog
HTTP メソッド	POST

## ■API URL

- ・ 「<MITERAS 仕事可視化のサーバドメイン>」は MITERAS 仕事可視化の画面アクセスに利用しているドメインとなります。
- ・ 「v1」の部分は今後のバージョンアップ等により v1.1 や v2 など追加・変更となる可能性があります。



## API パラメータ

---

### ■データ形式

multipart/form-data 形式で下記パラメータを API リクエストに設定し、API の URL へリクエストしてください。

### ■API HTTP リクエストヘッダーに含めるパラメータ

パラメータ名	設定値
api_key	MITERAS 仕事可視化運用・導入担当より API 利用開始時に提供させていただき、API のアクセス用のキー文字列。  この文字列により API の正規利用者であることを確認します。
target_date_start	yyyy-mm-dd 形式で日付を設定。  target_date_start と target_date_end はセットでリクエストに含めるパラメータです。
target_date_end	target_date_start と target_date_end で設定された期間の PC ログを取得します。

### ■API リクエスト例(curl を利用する場合)

```
curl --retry 3 -X POST "<API URL>" -F "api_key=<API キー>" -F "target_date_start=<PC  
ログ出力期間 開始年月日>" -F "target_date_end=<PC ログ出力期間 終了年月日>" -o <保  
存ファイル名>
```

### API URL

例：https://xxx.miteras-wv.jp/api/v1/download/pc-timelog

### PC ログ出力期間 開始年月日

例：2025-08-01

### PC ログ出力期間 終了年月日

例：2025-08-31

### 保存ファイル名(API で出力した PC ログ CSV ファイルの保存時のファイル名の設定)

例：pc\_timelog.csv など任意の保存ファイル名を指定

## API 返却データ

---

PC ログ出力 API では下記のデータを返却します。

API の実行結果は下記のデータと HTTP ステータスコードにより表現します。

### ■API 返却データ形式

API 正常終了の場合、CSV ファイルのバイナリデータを返却します。

API エラー終了の場合、JSON 形式のデータを返却します。

### ■API 返却データ仕様

PC ログ出力 API 返却データは正常に処理が成功した場合と、エラーが発生した場合とで返却データの内容が異なります。

#### ① API 正常終了の場合

API が正常終了している場合、PC ログ CSV データの作成に成功したことを示します。

### HTTP ステータスコード

200 (OK) を返却します。

### 返却データ

MIME タイプ application/octet-stream として、CSV ファイルをバイナリデータとして返却します。

出力される CSV データは API 実行時点でデータベースに保存されているデータが出力されます。

グループ利用されている場合は、全社のデータが CSV ファイルに出力されます。

### CSV ファイルフォーマット

ファイル形式：CSV ファイル

文字コード：UTF8

フィールドとフィールドの区切り：半角カンマ (,)

各フィールドはダブルクォーテーションで囲う

改行コード：CRLF

ヘッダー行あり

エスケープ：CSV データ中の”(ダブルクォーテーション)は”(ダブルクォーテーション)を2つ連続した形にエスケープ

例：「"test" data」というデータの場合 CSV ファイル上は「""test"" data」というデータで表現されます。

項目名	設定値	設定値例
会社コード	会社コードを設定	900000
社員番号	社員番号。  ユーザを一意に特定できる情報となります。	000001
稼働日	このレコードのデータが示す対象日が設定されます。  yyyy/MM/dd 形式	2025/05/23
PC 起動時間	PC 起動時間。  日本時間で設定。  稼働日の日またぎ時間～翌日の日またぎ時間の前までの時間が格納されます。  yyyy/MM/dd HH:MM 形式。	稼働日の午前 8 時 12 分の場合  2025/05/23 08:12
PC 終了時間	PC 終了時間。  日本時間で設定。	稼働日の翌日午前 4 時 45 分の場合  2025/05/24 04:45

	稼働日の日またぎ時間～翌日の日またぎ時間  の前までの時間が格納されます。  yyyy/MM/dd HH:MM 形式。	
--	---	--

※日またぎ時間 = 1日の開始の基準となる時間。日またぎ時間が5時の場合、毎日5時が日付の区切りとなり、5時を跨ぐと翌稼働日の扱いとなる。

返却データ例

```
"会社コード","社員番号","稼働日","PC 起動時間","PC 終了時間"
"9000000","0000001","2025/05/23","2025/05/23 08:12","2025/05/23 23:56"
"9000000","0000001","2025/05/28","2025/05/28 13:56","2025/05/29 03:23"
```

### 除外データ

以下のデータについては例外データとして除外する(CSVにデータが含まれません)

- ・ PC 終了時間が日跨ぎ時刻を超えている。

例：日またぎ時間が5時の設定で、稼働日が2025/05/23の場合、翌日の05/24 05:00以降のデータが含まれる場合は不正なデータとしてCSVにデータが含まれなくなります。

- ・ PC 起動時間または PC 終了時間がマイナス時刻(過去時刻)
- ・ PC 起動時間または PC 終了時間が欠落している
- ・ ユーザマスタからユーザを削除した日以降のそのユーザのデータ

※ユーザを削除日より以前の過去日付のデータを出力する場合はCSVに出力されません。

## ② API エラー終了の場合

### HTTP ステータスコード

API 実行結果がエラー終了の場合、HTTP ステータスコードは400番代または、500番代のステータスコードを返却します。

リクエストパラメータ誤りや、リクエスト内容に誤りがある場合、ダウンロード対象ファイルが存在しない場合は400番代のHTTPステータスコードを返却します。

予期せぬエラーが発生した場合、500 番代の HTTP ステータスコードを返却します。

### 返却データ

エラー発生時には下記のエラーの原因特定のヒントになる情報を返却します。

項目名	値
error_code	エラーの種類を特定するためのエラーコード（文字列）  例：ERR_101 など
error_reason	エラー内容についての詳細メッセージ。 担当者がこの項目のメッセージを確認し、エラー内容を理解しやすくすることを目的としたメッセージです。  例：「認証に失敗しました。」や「パラメータが不足しています。」など
execution_start_time	API 処理実行時間(UTC 時間)

### 返却データ例

```
{  
  "error_code": "ERR_108",  
  "error_reason": "認証に失敗しました。",  
  "execution_start_time": "2025-10-07T04:22:03.7426656Z"  
}
```

### エラーコード一覧

エラーコード (error_code)	エラー理由 (error_reason)	エラー発生時の対応方法
ERR_101	現在システムメンテナンスを行っているため、APIをご利用いただくことができません。	システムメンテナンス終了後に API を再試行してください。
ERR_102	HTTPS 以外のプロトコルでアクセスしています。 HTTPS プロトコルでアクセスしてください。	HTTPS プロトコルで API へアクセスしてください。

ERR_103	リクエスト URL が不正です。URL をご確認ください。	PC タイムログ出力 API の URL パスが下記 URL になっていることを確認し、API を再試行してください。  https://<MITERAS 仕事可視化のドメイン>/api/v1/download/pc-timelog
ERR_104	パラメータが不足しています。	下記を確認し、API を再試行してください。API リクエストパラメータに「api_key」パラメータと、「target_date_start」または、「target_date_end」パラメータが設定されていること。
ERR_105	リクエストパラメータの「target_date_start」または、「target_date_end」のデータが不正です。	下記を確認し、API を再試行してください。 ・ API リクエストパラメータに設定している「target_date_start」または、「target_date_end」が yyyy-mm-dd 形式の日付が設定されていること。 ・ API リクエストパラメータに設定されている「target_date_start」または、「target_date_end」パラメータが存在する日付のデータが設定されていること。
ERR_106	リクエストパラメータの「target_date_start」と「target_date_end」で指定される期間が長すぎます。 最大で●日分の期間が設定可能です。  ※●の部分には具体的な数値が入ります。	下記を確認し、API を再試行してください。API リクエストパラメータに設定している「target_date_start」と、「target_date_end」の期間が PC タイムログ出力 API で出力できる最大日数内の期間を指定していること。
ERR_107	リクエストパラメータの「target_date_start」が「target_date_end」よりも未来日が指定されています。「target_date_start」は「target_date_end」以前の日付を設定してください。	下記を確認し、API を再試行してください。API リクエストパラメータに設定している「target_date_start」の日付が、「target_date_end」の日付よりも過去日になっていること。

ERR_108	認証に失敗しました。	下記を確認し、API を再試行してください。 API のリクエストパラメータに設定している「api_key」の値が、MITERAS 仕事可視化サポートより共有されている API 認証キーの文字列が設定されていること。
ERR_109	PC タイムログ出力 API 機能が無効です。有効にする場合はサポートにお問い合わせ下さい。	PC タイムログ出力 API 機能が無効です。有効にしたい場合は MITERAS 仕事可視化サポートにお問い合わせ下さい。
ERR_111	出力データの作成に失敗しました。しばらく時間を置いてから再試行してください。	しばらく時間を置いてから、API を再試行してください。 それでも本エラーが解消しない場合は MITERAS 仕事可視化サポートまでお問い合わせください。
ERR_199	予期せぬエラーが発生しました。サポートまでお問い合わせください。	しばらく時間を置いてから、API を再試行してください。 それでも本エラーが解消しない場合は MITERAS 仕事可視化サポートまでお問い合わせください。

– end of document –